

# 人間科学部 人間科学科

## 2023年度入学生カリキュラム

### <カリキュラム情報>

- ◆ **ディプロマ・ポリシー/カリキュラム・ポリシー** ..... p.2  
ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)とは、取得する学位にふさわしい人材として、各学科で学生が卒業までに身に付けるべき知識・能力を示したものです。カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成方針)とは、ディプロマ・ポリシーに基づく各学科の教育内容や教育方法についての基本的な考え方を示したものです。
- ◆ **カリキュラム・マップ [武蔵野 INITIAL・学科科目]** ..... p.3  
科目の分野やレベルに沿って、学科のカリキュラムの全体像を示した学びのマップ。
- ◆ **卒業所要単位数** ..... p.5  
必修科目や卒業に必要な科目区分ごとの単位数の一覧。未修得の必修科目がある場合や、卒業に必要な単位数が不足する場合、卒業要件を満たすことができないため注意してください。  
※総合GPAなど、卒業要件の全体は「学修の手引き」を確認してください。
- ◆ **開講表 [武蔵野 INITIAL]** ..... p.6  
武蔵野INITIAL(全学共通基礎課程)科目の一覧。開講表では開講年次、単位数、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。
- ◆ **開講表 [学科科目]** ..... p.8  
学科科目の一覧。開講表では開講年次、単位数、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。
- ◆ **履修モデル** ..... p.11  
学びの関心や将来の進路目標に沿った科目の履修例。履修計画を立てる際に、科目選択の参考としてください。  
※履修モデル自体は卒業所要単位数を満たすことを保証するものではないため、卒業所要単位数と開講表を必ず確認したうえで履修計画を立ててください。
- ◆ **成果に基づき単位認定される科目** ..... p.17  
「留学の単位認定科目」「資格試験の合格による単位認定科目」「本学で認めたボランティア活動による単位認定科目」  
「本学で認めたキャリアデザインに関する単位認定科目」の一覧。

### 付録：卒業所要単位表・開講表の見方

開講表の科目情報(科目名、履修条件、休講科目等)など、カリキュラム情報は科目が開講される年度により変更となる場合があります。毎年度、履修要覧に掲載される最新の情報を確認してください。

人間科学科 ディプロマ・ポリシー/カリキュラム・ポリシー [2023年度入学生]

		ディプロマ・ポリシー(DP) ・・・学位授与の基本的な考え方として、修得を期待する能力を示したもの	カリキュラム・ポリシー(CP) ・・・ディプロマ・ポリシーを達成するために必要なカリキュラム編成や教育方法についての基本的な考え方
<b>DP1 知識・専門性【学びの基礎力を基礎とした専門能力】</b>			
教養・基礎学力	自ら教養・基礎学力を修得し、自立的・主体的に学ぶことができる【教養・基礎学力】		本格的な専門教育を受ける前に、全学共通の教養教育プログラムである「武蔵野INITIAL」を履修します。「武蔵野INITIAL」では、大学での学修に必要な基礎的な技法と知識の修得を目的として、「建学」「スポーツ・身体」「情報」「外国語」「教養日本語」「CHP (Creating Happiness Program)」「フィールド・スタディーズ」「インターンシップ」「全学教養ゼミナール」などの科目を学びます。これらの科目を通じて、人生を生きる智慧としての幅広い教養を身につけ、すぐれた人格の形成を目指します。
専門能力	人間の心理・生命・社会行動などの専門知識に依拠した、総合的な人間理解力を修得している【専門能力】		総合的な人間理解力を修得するために、「人間科学基礎」「社会学」「心理学概論Ⅰ・Ⅱ」「生命科学Ⅰ」「人間論基礎」などの必修科目をはじめとして、人間科学に関する基礎的な知識を身につける。また、「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「生命科学実験演習Ⅰ・Ⅱ」「社会調査実習」などの実践的科目を通じて、より応用的なスキルについても修得する。さらに、「人間論演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業論文演習Ⅰ・Ⅱ」「ソーシャルワーク実習」などの3年4年ゼミを通じ、専門的な知識と実践能力を獲得する。
<b>DP2 関心・態度・人格【他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力】</b>			
自己認識力・他者理解力	自己と他者への深い洞察にもとづいて、社会において様々な人々と円滑な関係を築くことができる【自己認識力・他者理解力】		自己認識力・他者理解力の獲得のため、2年次必修の「人間論基礎」において、哲学的な問題提起や論証の基礎を学ぶ。更に、「東洋思想論Ⅰ・Ⅱ」「西洋思想論Ⅰ・Ⅱ」などの科目において、様々な思想的観点を学ぶことで、既存の概念的枠組みとその発展的理解ができるようになる。また、「心理学統計法」「心理的アセスメント」などの心理学科目により、自己と他者の客観的理解ができるようになる。さらに、「対人コミュニケーション論」「対人行動論Ⅰ・Ⅱ」などの科目から、自己認識力や他者理解力を獲得する。
主体性・実行力・ストレスコントロール力	人間が直面する様々な問題について自ら積極的に考え、継続してその解決に取り組むことができる【主体性・実行力】 人間社会のストレスの問題について理解し、自己の心理的問題について対処することができる【ストレスコントロール力】		また、現代社会におけるストレスに対応するため、「臨床心理学概論」「メンタルヘルス論Ⅰ・Ⅱ」「心身医学」「精神分析学」「健康・医療心理学」「健康科学」などの科目から心身の健康に関する問題の理解を深め、自己の健康増進に関わるストレスコントロール力を身につける。さらに、「死生学」「公認心理師の職責」「精神保健福祉の原理」などの科目から人間尊重の倫理や道徳観を修得する。
人格形成・使命感	哲学・倫理学の知識にもとづき、仏教精神にもとづく人間尊重の倫理・道徳観を身につけている【人格形成・使命感】		
<b>DP3 思考・判断【課題を多角的に捉え、創造的に考える力】</b>			
情報分析力・論理的思考力・判断力	情報を適切に収集・分析し、かつ建設的な議論を踏まえ、課題解決に向けて科学的・論理的に考えることができる【情報分析力・論理的思考力】		「心理学研究法」「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「脳と心Ⅰ・Ⅱ」「社会調査法」などの科目から、人間の理解に関する客観的視点と方法論を修得する。また、「人間論基礎」「東洋思想論Ⅰ・Ⅱ」「西洋思想論Ⅰ・Ⅱ」などの科目において、哲学的・倫理的な「論証」を修得し、他者の見解を理解し、また自分の見解を明確に言葉で述べるようになるとともに、種々な見解の合理性を批判的に検討できるようになる。
創造的思考力	自ら設定した課題について、心理学・社会学・生命科学の立場から多角的な理解と提案ができる【創造的思考力】		これらの専門領域についての理解と実践的スキルを育成するために、「人間論演習Ⅰ・Ⅱ」や「卒業論文演習Ⅰ・Ⅱ」「ソーシャルワーク実習」などのゼミナールにおいて、各教員の専門性に基づき、卒業論文の執筆と完成またはソーシャルワーク実習に取り組む。これらを通じて、人間科学の総合的理解と実証的・批判的思考を修得するとともに、課題解決を進める応用力を養成し、創造的思考力を身につける。
<b>DP4 実践的スキル・表現【多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力】</b>			
語学力・コミュニケーション力	心理学の知識と実践力に基づく共感的なコミュニケーションを通して、様々な人々と相互理解を深めることができる【コミュニケーション力】		「社会・集団・家族心理学」「社会心理学」「対人コミュニケーション論」「臨床心理学概論」「メンタルヘルス論Ⅰ・Ⅱ」「感情・人格心理学」「ソーシャルワーク論」などの科目から、対人関係、社会や環境における人間の心理のメカニズムについて理解できるようになる。また、「カウンセリング演習」「心理演習」「臨床心理学特殊演習」などの応用科目において、傾聴力やコミュニケーション力の発展的スキルの獲得も目指す。
表現力	自らの考えを、読み手の立場に立った明確かつ論理的な文章にまとめ、分かりやすい発表をおこなうことができる【表現力】 聞き手の立場に立った、分かりやすい発表ができる【プレゼンテーション力】		「基礎ゼミⅠ・Ⅱ」「人間論演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業論文演習Ⅰ・Ⅱ」「ソーシャルワーク実習」などのゼミナールにおいては、心理学、社会学、生命科学、哲学などの専門領域についての課題のとりまとめや発表を行う。最終的に、卒業論文やソーシャルワーク実習などの成果発表により、社会で活躍する際に必要な、文章力とプレゼンテーション力の養成を図る。各学年におけるゼミナールだけでなく、「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」や「心理的アセスメント」などの科目は個人のみでなくグループにより課題の実践ととりまとめを行う。これにより、傾聴力やチームワーク力を身につけることができる。
傾聴力・リーダーシップ・チームワーク力	人間に対する深い理解にもとづき、他者と協力しながら課題に取り組むことができる【傾聴力・チームワーク力】		



1年	2年				3年				4年	
<b>人間科学基礎</b> ★ HSC 100 人間科学基礎	<b>認知心理学</b> ★ PSY 220 知覚・認知心理学 PSY 221 感情・人格心理学 PSY 222 神経・生理心理学 PSY 223 学習・言語心理学				<b>プロジェクト</b> HSC 220 人間科学プロジェクト1 HSC 320 人間科学プロジェクト2		<b>メディア論</b> SOC 320 マスコミュニケーション論	<b>統計推計学</b> LHS 320 心理統計法演習		
<b>コミュニケーション</b> HSC 140 対人コミュニケーション論	<b>総合研究</b> HSC 331 総合研究1 HSC 332 総合研究2		<b>犯罪心理学</b> PSY 250 司法・犯罪心理学1 PSY 251 司法・犯罪心理学2		<b>社会調査法</b> SOC 310 社会調査法 SOC 311 社会調査実習					
★ HUM 100 人間学入門 HUM 101 論理学	<b>人間学</b> ★ HUM 200 人間論基礎 HUM 202 平和学 HUM 203 東洋思想論1 HUM 206 ロジカルシンキング HUM 300 東洋思想論2				<b>International Lectures</b> HSC 350 International Lectures (Human Sciences)1 HSC 351 International Lectures (Human Sciences)2		HUM 201 宗教学概論	HUM 204 西洋思想論1	HUM 301 西洋思想論2	HUM 302 死生学
<b>社会学</b> ★ SOC 100 社会学	<b>社会学</b> SOC 200 地域社会学 SOC 201 家族社会学		<b>演習・論文</b> ★ HSC 211 基礎ゼミ1 ★ HSC 212 基礎ゼミ2		★ HSC 311 人間論演習1 ★ HSC 312 人間論演習2		★ HSC 411 卒業論文演習1 ★ HSC 412 卒業論文演習2 ★ HSC 413 卒業論文			
PSY 141 人格心理学 PSY 142 教育・学校心理学	<b>発達心理学</b> ★ PSY 240 発達心理学1 PSY 241 発達心理学2 PSY 244 家族心理学 PSY 245 障害者・障害児心理学				<b>フィールド・スタディーズ</b> FIE 211 フィールド・スタディーズ 発展1(人間科学) FIE 212 フィールド・スタディーズ 発展2(人間科学)					
<b>心理基礎</b> ★ PSY 100 心理学概論I ★ PSY 101 心理学概論II	<b>スポーツ科学</b> SPO 200 生体適応論 SPO 201 スポーツ心理学		SOC 232 関係行政論		SOC 233 社会福祉の原理と政策I SOC 234 社会福祉の原理と政策II		<b>社会福祉</b> SOC 334 権利擁護を支える法制度 SOC 335 刑事司法と福祉 SOC 336 社会保険I SOC 337 社会保険II SOC 338 地域福祉論I SOC 339 地域福祉論II			
★ LHS 100 生命科学1	<b>生命科学</b> LHS 200 生命科学2				LHS 300 生命科学実験演習1 LHS 301 生命科学実験演習2					
LHS 111 脳と心1	<b>生理学</b> ★ LHS 210 自然人類学1 LHS 211 自然人類学2 LHS 310 脳と心2				LHS 311 生理実験演習1 LHS 312 生理実験演習2					
PSY 161 社会心理学	<b>社会心理学</b> ★ PSY 260 社会・集団・家族心理学 ★ PSY 262 対人行動論1 PSY 263 対人行動論2 PSY 264 集団心理学 PSY 360 コミュニティ心理学				PSY 361 文化心理学					
PSY 131 公認心理師の職責	<b>臨床心理学</b> ★ PSY 230 臨床心理学概論				PSY 331 カウンセリング演習 PSY 332 心理演習 PSY 333 心理的アセスメント PSY 334 心理療法論(心理学的支援法) PSY 335 臨床心理学特殊演習		PSY 336 精神分析学 PSY 337 英語文献研究 PSY 338 心理実習1		PSY 430 心理実習2	
★ LHS 130 メンタルヘルス論I LHS 131 医学知識(人体の構造と機能及び疾病) LHS 102 福祉心理学	<b>健康科学</b> LHS 230 メンタルヘルス論II LHS 232 健康科学 LHS 235 精神医学(精神疾患とその治療)I LHS 236 精神医学(精神疾患とその治療)II				LHS 330 心身医学 ★ LHS 331 健康・医療心理学					
PSW 110 ソーシャルワーク論	<b>精神保健福祉論</b> PSW 204 精神保健福祉の原理I PSW 205 精神保健福祉の原理II PSW 206 精神保健福祉制度論				PSW 304 障害者福祉論					
PSW 202 ソーシャルワークの理論と方法I PSW 203 ソーシャルワークの理論と方法II PSW 210 ソーシャルワーク演習	<b>ソーシャルワーク援助技術論</b>				PSW 301 精神障害リハビリテーション論 PSW 302 ソーシャルワークの理論と方法(専門)I PSW 303 ソーシャルワークの理論と方法(専門)II PSW 316 ソーシャルワーク演習(専門)I PSW 317 ソーシャルワーク演習(専門)II PSW 318 ソーシャルワーク実習指導I		PSW 413 ソーシャルワーク演習(専門)III PSW 414 ソーシャルワーク実習指導II PSW 415 ソーシャルワーク実習			

★ 必修科目  
 \*各科目の履修条件は開講表を参照

- 学科基礎科目
- 人間学基礎科目群
- 臨床心理科目群
- 産業・社会科目群
- 生命・健康科学科目群
- 精神保健福祉科目群
- 人間論演習
- フィールド・スタディーズ発展(学科)
- 総合科目
- 卒業研究

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野INITIAL (16)	必修 (16)	【建学】 <1年次> 仏教（生き方を考える）基礎 [2単位] <3年次> 仏教（生き方を考える）発展 [2単位]	4
		【情報】 データサイエンス基礎 [1単位] 人工知能基礎 [1単位]	2
		【外国語】 英語基礎A [2単位] 英語基礎C [2単位]	4
		【教養日本語】 日本語リテラシー [1単位]	1
		【CHP】 SDGs 基礎 [1単位] SDGs 発展1 [1単位] SDGs 発展2 [1単位] SDGs 発展3 [1単位]	4
		【フィールド・スタディーズ】 フィールド・スタディーズ [1単位]	1
学科科目 (86)	必修 (38)	人間学入門 [2単位] 人間科学基礎 [2単位] 人間論基礎 [2単位] 基礎ゼミ1 [1単位] 基礎ゼミ2 [1単位] 心理学概論Ⅰ [2単位] 心理学概論Ⅱ [2単位] メンタルヘルス論Ⅰ [2単位] 知覚・認知心理学 [2単位] 臨床心理学概論 [2単位] 発達心理学Ⅰ [2単位] 社会学 [2単位] 社会・集団・家族心理学 [2単位] 対人行動論Ⅰ [2単位] 生命科学Ⅰ [2単位] 自然人類学Ⅰ [2単位] 健康・医療心理学 [2単位] 人間論演習Ⅰ [1単位] 人間論演習Ⅱ [1単位] 卒業論文 [2単位] 卒業論文演習Ⅰ [1単位] 卒業論文演習Ⅱ [1単位]	38
	選択必修 (8)	【人間学基幹科目群】の中から8単位選択必修	8
	選 択 (40)	学科科目の中から上記所要単位以外の科目を選択 (8単位を超えて修得した学科科目（選択必修）の単位を含む)	40
自由選択科目 (22)		以下の科目から22単位以上を修得すること ①武蔵野INITIAL（所要16単位を超えて修得した単位） ②学科科目（所要86単位を超えて修得した単位） ③資格取得科目（司書課程の科目） ④武蔵野地域5大学単位互換制度による認定科目 ⑤他学部・他学科履修許可科目 ⑥成果に基づき単位認定される科目（自由選択科目算入分のみ）※	22
合 計			124

※詳細については、「成果に基づき単位認定される科目」一覧を確認してください。

【留意事項】

- ・開講科目の名称は課程年度により変更となる場合があります。科目の名称変更と対応関係については開講表を確認してください。
- ・履修計画を立てる際には、必ず「**学修の手引き**」の「**履修計画**」や「**履修登録**」を確認してください。

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考		
			必修	選択				
<b>【建学】</b>								
BDS 101	仏教（生き方を考える）基礎	1年	2					
BDS 301	仏教（生き方を考える）発展	3年	2					
<b>【スポーツ・身体】</b>								
HPE 101	スポーツと身体科学	1年		1				
HPE 201	フィールド・スポーツ	2年		1				
<b>【情報】</b>								
SIC 101	データサイエンス基礎	1年	1					
SIC 102	人工知能基礎	1年	1					
SIC 105	メディアリテラシー	1年		1				
SIC 103	情報技法基礎	1年		1				
SIC 201	情報技法発展 A	2年		1	◆「情報技法基礎」を修得していること			
SIC 202	情報技法発展 B	2年		1				
SIC 203	情報技法発展 C	2年		1				
SIC 104	プログラミング基礎	1年		1	◆「プログラミング基礎」を修得していること			
SIC 204	プログラミング発展 A	2年		1				
SIC 205	プログラミング発展 B	2年		1				
SIC 206	人工知能技術と社会	2年		1	履修条件については「副専攻（AI活用エキスパートコース）科目一覧」に詳しい記載があるので必ず確認すること	副専攻(AI活用エキスパートコース)の学生のみ履修可能		
SIC 207	機械学習活用 1	2年		1				
SIC 208	機械学習活用 2	2年		1				
SIC 209	データサイエンス活用 1	2年		1				
SIC 210	データサイエンス活用 2	2年		1				
SIC 211	メディアデザイン	2年		1				
SIC 213	サービスデザイン	2年		1				
SIC 301	人工知能実践プロジェクト	3年		2				
<b>【外国語】</b>								
ENG 101	英語基礎 A	1年	2					
ENG 102	英語基礎 B	1年		1				
ENG 103	英語基礎 C	1年	2					
ENG 104	英語基礎 D	1年		1				
ENG 201	英語発展 A	2年		1				
ENG 202	英語発展 B	2年		1				
ENG 203	英語発展 C	2年		1				
ENG 204	英語発展 D	2年		1				
ENG 301	英語総合 A	3年		1				
ENG 302	英語総合 B	3年		1				
CHN 101	中国語基礎 1	1年		1	◆「中国語基礎 1」「中国語基礎 2」をセットで履修すること			
CHN 102	中国語基礎 2	1年		1				
CHN 201	中国語発展 1	2年		1	◆「中国語発展 1」を履修していること			
CHN 202	中国語発展 2	2年		1				
CHN 301	中国語総合 1	3年		1				
CHN 302	中国語総合 2	3年		1				
FRA 101	フランス語基礎 1	1年		1	◆「フランス語基礎 1」「フランス語基礎 2」をセットで履修すること			
FRA 102	フランス語基礎 2	1年		1				
FRA 201	フランス語発展 1	2年		1	◆「フランス語発展 1」を履修していること			
FRA 202	フランス語発展 2	2年		1				
FRA 301	フランス語総合 1	3年		1				
FRA 302	フランス語総合 2	3年		1				
GER 101	ドイツ語基礎 1	1年		1	◆「ドイツ語基礎 1」「ドイツ語基礎 2」をセットで履修すること	履修条件については各科目のシラバスに詳しい記載があるので必ず確認すること		
GER 102	ドイツ語基礎 2	1年		1				
GER 201	ドイツ語発展 1	2年		1	◆「ドイツ語発展 1」を履修していること			
GER 202	ドイツ語発展 2	2年		1				
GER 301	ドイツ語総合 1	3年		1				
GER 302	ドイツ語総合 2	3年		1				
SPA 101	スペイン語基礎 1	1年		1	◆「スペイン語基礎 1」「スペイン語基礎 2」をセットで履修すること			
SPA 102	スペイン語基礎 2	1年		1				
SPA 201	スペイン語発展 1	2年		1	◆「スペイン語発展 1」を履修していること			
SPA 202	スペイン語発展 2	2年		1				
SPA 301	スペイン語総合 1	3年		1				
SPA 302	スペイン語総合 2	3年		1				

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
KOR 101	韓国語基礎 1	1年		1	◆「韓国語基礎 1」「韓国語基礎 2」をセットで履修すること	履修条件については各科目のシラバスに詳しい記載があるので必ず確認すること
KOR 102	韓国語基礎 2	1年		1		
KOR 201	韓国語発展 1	2年		1	◆「韓国語発展 1」を履修していること	
KOR 202	韓国語発展 2	2年		1		
KOR 301	韓国語総合 1	3年		1		
KOR 302	韓国語総合 2	3年		1		
AL 301	留学準備 1	1年		1	◆「留学準備 1」「留学準備 2」をセットで履修すること	履修条件についてはシラバスに詳しい記載があるので必ず確認すること
AL 302	留学準備 2	1年		1		
AL 101	英語資格・検定試験対策 1	1年		1	◇TOEIC550点程度の英語力があること	
AL 102	英語資格・検定試験対策 2	1年		1	◇TOEIC400点程度の英語力があること	
【教養日本語】						
JL 101	日本語リテラシー	1年	1			
JPA 201	日本語基礎 A	1年		1	◆留学生または日本語を母語としない学生	*1*2
JPA 202	日本語基礎 B	1年		1		外国語科目群の必修科目に代えることができる
JPA 203	日本語基礎 C	1年		1		
JPA 204	日本語基礎 D	1年		1		
JPA 301	日本語発展 A	2年		1	◆留学生または日本語を母語としない学生 ◆次のいずれかのセットで履修すること ①「日本語発展A」「日本語発展B」 ②「日本語発展C」「日本語発展D」 ①と②両方の履修も可能	
JPA 302	日本語発展 B	2年		1		
JPA 303	日本語発展 C	2年		1		
JPA 304	日本語発展 D	2年		1		
JPA 101	日本事情	1年		2		◆留学生または日本語を母語としない学生
【CHP】						
SDG 101	SDGs 基礎	1年		1		
SDG 201	SDGs 発展 1	1年		1		
SDG 202	SDGs 発展 2	1年		1		
SDG 203	SDGs 発展 3	1年		1		
SDG 301	SDGs 特講	3年		2		
【フィールド・スタディーズ】						
FW 101	フィールド・スタディーズ	1年	1			
FW 111	フィールド・スタディーズ 1	1年		1		学外学修の活動日数に応じて、単位修得できる科目が決定します 履修登録は不要です
FW 112	フィールド・スタディーズ 2	1年		2		
FW 113	フィールド・スタディーズ 3	1年		3		
FW 114	フィールド・スタディーズ 4	1年		4		
AFS 101	フィールド・スタディーズ発展 1 A	1年		1		詳細はガイダンスで確認すること 履修登録は不要です
AFS 102	フィールド・スタディーズ発展 1 B	1年		2		
AFS 103	フィールド・スタディーズ発展 1 C	1年		3		
AFS 104	フィールド・スタディーズ発展 1 D	1年		4		
AFS 201	フィールド・スタディーズ発展 2 A	2年		1		
AFS 202	フィールド・スタディーズ発展 2 B	2年		2		
AFS 203	フィールド・スタディーズ発展 2 C	2年		3		
AFS 204	フィールド・スタディーズ発展 2 D	2年		4		
AFS 205	フィールド・スタディーズ発展 2 E	2年		5		
AFS 301	フィールド・スタディーズ発展 3 A	3年		1		
AFS 302	フィールド・スタディーズ発展 3 B	3年		2		
AFS 303	フィールド・スタディーズ発展 3 C	3年		3		
AFS 304	フィールド・スタディーズ発展 3 D	3年		4		
AFS 305	フィールド・スタディーズ発展 3 E	3年		5		
AFS 401	フィールド・スタディーズ発展 4 A	4年		1		
AFS 402	フィールド・スタディーズ発展 4 B	4年		2		
AFS 403	フィールド・スタディーズ発展 4 C	4年		3		
AFS 404	フィールド・スタディーズ発展 4 D	4年		4		
【インターンシップ】						
CD 211	インターンシップ	2年		1		
CD 212	企業協働プロジェクト	2年		2		
【全学教養ゼミナール】						
LAS 101	全学教養ゼミナール 1	1年		2		
LAS 102	全学教養ゼミナール 2	1年		2		
【寄付講座】						
EC 101	武蔵野市自由講座	1年		2		寄付講座：武蔵野市
EC 202	証券ビジネス論	2年		2		寄付講座：野村證券

履修条件については、「学修の手引き」を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

\*1 留学生は「英語基礎A,C(2科目4単位)」の代わりに、「日本語基礎A-D(4科目4単位)」が履修登録されています。

「日本語基礎A-D」は、外国語必修科目に対応するものとして、進級基準における「必修未修得2科目以内」の条件の対象となり、原級留年時の成績リセットの対象となります。

\*2 日本語を母語としない学生が履修を希望する場合は、前期履修登録期間までに武蔵野教務課にお問合せください。

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【学科基礎科目】						
HUM 100	人間学入門	1年	2			
HSC 100	人間科学基礎	1年	2			
HUM 200	人間論基礎	2年	2			
HSC 211	基礎ゼミ1	2年	1			
HSC 212	基礎ゼミ2	2年	1		◇「基礎ゼミ1」を履修していること	* ★ A
PSY 100	心理学概論 I	1年	2			
PSY 101	心理学概論 II	1年	2			
PSY 210	心理学研究法	2年		2		
PSY 211	心理学統計法	2年		2		
LHS 130	メンタルヘルス論 I	1年	2			
LHS 230	メンタルヘルス論 II	2年		2		
HSC 140	対人コミュニケーション論	1年		2		
【人間学基幹科目群】						
HUM 101	論理学	1年		2		
HUM 206	ロジカルシンキング	2年		2		
HUM 203	東洋思想論 1	2年		2		
HUM 300	東洋思想論 2	2年		2		
HUM 204	西洋思想論 1	3年		2		8単位以上選択必修
HUM 301	西洋思想論 2	3年		2		
HUM 202	平和学	2年		2		
HUM 201	宗教学概論	3年		2		
HUM 302	死生学	3年		2		
【臨床心理科目群】						
PSY 212	心理学実験 1	2年		2		
PSY 213	心理学実験 2	2年		2	◇「心理学実験 1」を履修していること	
PSY 220	知覚・認知心理学	2年	2			
PSY 221	感情・人格心理学	2年		2		
PSY 223	学習・言語心理学	2年		2		
PSY 230	臨床心理学概論	2年	2			
PSY 240	発達心理学 1	2年		2		
PSY 241	発達心理学 2	2年		2	◇「発達心理学 1」を履修していること	
PSY 141	人格心理学	1年		2		
PSY 250	司法・犯罪心理学 1	2年		2		
PSY 251	司法・犯罪心理学 2	2年		2		
PSY 142	教育・学校心理学	1年		2		
PSY 244	家族心理学	2年		2		
PSY 333	心理的アセスメント	3年		2		
PSY 334	心理療法論 (心理学的支援法)	3年		2		
PSY 335	臨床心理学特殊演習	3年		2		
PSY 336	精神分析学	3年		2		
PSY 337	英語文献研究	3年		2		
PSY 331	カウンセリング演習	3年		1		
PSY 332	心理演習	3年		1		
PSY 131	公認心理師の職責	1年		2		
PSY 338	心理実習 1	3年		1	◆「心理実習 1・2」履修に関する内規」の条件を充足すること	
PSY 430	心理実習 2	4年		1	◆「心理実習 1・2」履修に関する内規」の条件を充足すること	



科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
<b>【産業・社会科目群】</b>						
SOC 100	社会学	1年	2			
SOC 200	地域社会学	2年		2		
SOC 201	家族社会学	2年		2		
SOC 310	社会調査法	3年		2		
SOC 311	社会調査実習	3年		2	◇「社会調査法」を履修していること	
PSY 260	社会・集団・家族心理学	2年	2			
PSY 161	社会心理学	1年		2		
PSY 262	対人行動論 1	2年	2			
PSY 263	対人行動論 2	2年		2	◇「対人行動論 1」を履修していること	
PSY 270	産業・組織心理学	2年		2		
PSY 264	集団心理学	2年		2		
PSY 370	産業カウンセリング論	2年		2		
PSY 360	コミュニティ心理学	2年		2		
PSY 361	文化心理学	3年		2		2023年度休講
SOC 320	マスコミュニケーション論	3年		2		
SOC 336	社会保障 I	3年		2		
SOC 337	社会保障 II	3年		2	◇「社会保障 I」を履修していること	
SOC 338	地域福祉論 I	3年		2		
SOC 339	地域福祉論 II	3年		2	◇「地域福祉論 I」を履修していること	
SOC 334	権利擁護を支える法制度	3年		2		
SOC 233	社会福祉の原理と政策 I	2年		2		
SOC 234	社会福祉の原理と政策 II	2年		2	◇「社会福祉の原理と政策 I」を履修していること	
SOC 232	関係行政論	2年		2		
SOC 335	刑事司法と福祉	3年		2		
<b>【生命・健康科学科目群】</b>						
LHS 100	生命科学 1	1年	2			
LHS 200	生命科学 2	2年		2	◇「生命科学 1」を履修していること	
LHS 300	生命科学実験演習 1	3年		1		
LHS 301	生命科学実験演習 2	3年		1	◇「生命科学実験演習 1」を履修していること	
LHS 210	自然人類学 1	2年	2			
LHS 211	自然人類学 2	2年		2	◇「自然人類学 1」を履修していること	
LHS 311	生理実験演習 1	3年		1	◆「生理実験演習 2」をセットで履修すること	
LHS 312	生理実験演習 2	3年		1	◆「生理実験演習 1」をセットで履修すること	
LHS 111	脳と心 1	1年		2		
LHS 310	脳と心 2	2年		2	◇「脳と心 1」を履修していること	
LHS 320	心理統計法演習	3年		2		
LHS 331	健康・医療心理学	3年	2			
LHS 232	健康科学	2年		2		
LHS 235	精神医学(精神疾患とその治療) I	2年		2		
LHS 236	精神医学(精神疾患とその治療) II	2年		2	◇「精神医学(精神疾患とその治療) I」を受講していること	
LHS 131	医学知識 (人体の構造と機能及び疾病)	1年		2		
LHS 330	心身医学	3年		2		
PSY 245	障害者・障害児心理学	2年		2		
LHS 102	福祉心理学	1年		2		
PSY 222	神経・生理心理学	2年		2		
SPO 201	スポーツ心理学	2年		2		2023年度休講
SPO 200	生体適応論	2年		2		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
<b>【精神保健福祉科目群】</b>						
PSW 202	ソーシャルワークの理論と方法 I	2年		2		
PSW 203	ソーシャルワークの理論と方法 II	2年		2	◇「ソーシャルワークの理論と方法 I」を履修していること	
PSW 301	精神障害リハビリテーション論	3年		2		
PSW 204	精神保健福祉の原理 I	2年		2		
PSW 205	精神保健福祉の原理 II	2年		2	◇「精神保健福祉の原理 I」を履修していること	
PSW 206	精神保健福祉制度論	2年		2		
PSW 110	ソーシャルワーク論	1年		2		
PSW 302	ソーシャルワークの理論と方法(専門) I	3年		2		
PSW 303	ソーシャルワークの理論と方法(専門) II	3年		2	◇「ソーシャルワークの理論と方法(専門) I」を履修していること	
PSW 210	ソーシャルワーク演習	2年		1		* ☆ A
PSW 316	ソーシャルワーク演習(専門) I	3年		1		* ☆ B
PSW 317	ソーシャルワーク演習(専門) II	3年		1	◆「ソーシャルワーク演習(専門) I」を履修し、かつ同一学年内に履修すること	* ☆ C
PSW 413	ソーシャルワーク演習(専門) III	4年		1	◆「ソーシャルワーク演習(専門) II」を履修し、かつ「ソーシャルワーク実習指導 II」と「ソーシャルワーク実習」をセットで履修すること	
PSW 318	ソーシャルワーク実習指導 I	3年		1		
PSW 414	ソーシャルワーク実習指導 II	4年		2	◆「ソーシャルワーク実習指導 I」を履修し、かつ「ソーシャルワーク演習(専門) III」と「ソーシャルワーク実習」をセットで履修すること	
PSW 415	ソーシャルワーク実習	4年		4	◆「ソーシャルワーク実習指導 II」と「ソーシャルワーク演習(専門) III」をセットで履修すること ◆「ソーシャルワーク実習」履修に関する内規の条件を充足すること	* ☆ D
PSW 304	障害者福祉論	3年		2		
<b>【人間論演習】</b>						
HSC 311	人間論演習 1	3年	1			* ★ B
HSC 312	人間論演習 2	3年	1			* ★ C
<b>【フィールド・スタディーズ発展(学科)】</b>						
FIE 211	フィールド・スタディーズ発展 1(人間科学)	2年		3		
FIE 212	フィールド・スタディーズ発展 2(人間科学)	2年		3		2023年度休講
<b>【総合科目】</b>						
HSC 220	人間科学プロジェクト 1	2年		2		
HSC 320	人間科学プロジェクト 2	3年		2	◇「人間科学プロジェクト 1」を履修していること	2023年度休講
HSC 331	総合研究 1	2年		2		2023年度休講
HSC 332	総合研究 2	2年		2		2023年度休講
HSC 350	International Lectures(Human Sciences)1	2年		1		2023年度休講
HSC 351	International Lectures(Human Sciences)2	2年		1		
<b>【卒業研究】</b>						
HSC 413	卒業論文	4年	2			* ★ D
HSC 411	卒業論文演習 1	4年	1			* ★ D
HSC 412	卒業論文演習 2	4年	1			* ★ D

履修条件については、「学修の手引き」を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

\* ★ A～D・☆ A～D 精神保健福祉士を目指す学生は以下のとおり、みなし履修(修得)が可能。

ただし、3年次で「ソーシャルワーク演習(専門) I・II」を修得した学生に限る。

なお、精神保健福祉士課程におけるみなし履修の運用については、今後若干の変更が生じる可能性があります。

精神保健福祉士課程に進むことを考えている方は、常に最新の情報を確認するように心掛けてください。

#### 2023年度入学生

	★学科必修科目	単位数		☆精神保健福祉士指定科目	単位数
A	基礎ゼミ2	1	⇒	ソーシャルワーク演習	1
B	人間論演習 1	1	⇒	ソーシャルワーク演習(専門) I	1
C	人間論演習 2	1	⇒	ソーシャルワーク演習(専門) II	1
D	卒業論文	2	⇒	ソーシャルワーク実習	4
	卒業論文演習 1	1			
	卒業論文演習 2	1			

人間科学科 履修モデル 2023年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学習希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】	【進路イメージ】	【モデル概要】
公認心理師	公認心理師資格取得を目指す (大学院進学や実務経験を積むことによる、公認心理師国家試験の受験を目指す進路)	本モデルは、国家資格である公認心理師の資格取得要件を満たすためのものである。学部で必要とされる公認心理師の受験資格に必要な科目を履修するほか、関連する領域の科目を履修する。なお、心理実習1・2については履修条件が設定されるため、これらの要件を満たすよう履修を進める必要がある。

★必修科目 数字は単位数

色付きの科目は公認心理師国家試験の受験資格に必須の科目

科目区分		1年	2年	3年	4年	
武蔵野 INITIAL (16)	必修 (16)	建学	★ 仏教（生き方を考える）基礎 2	★ 仏教（生き方を考える）発展 2		
		情報	★ データサイエンス基礎 1 ★ 人工知能基礎 1	「AI活用エキスパートコース」については、別紙参照		
		外国語	★ 英語基礎 A 2 ★ 英語基礎 C 2			
		教養日本語	★ 日本語リテラシー 1			
		C H P	★ S D G s 基礎 1			
			★ S D G s 発展 1			
			★ S D G s 発展 2 1 ★ S D G s 発展 3 1			
フィールド・スタディーズ	★ フィールド・スタディーズ 1					
学科学目 (86)	必修 (38)	★ 人間学入門 2	★ 人間論基礎 2	★ 人間論演習 1 1	★ 卒業論文 2	
		★ 人間科学基礎 2	★ 基礎ゼミ 1 1	★ 人間論演習 2 1	★ 卒業論文演習 1 1	
		★ 心理学概論 I 2	★ 基礎ゼミ 2 1	★ 健康・医療心理学 2	★ 卒業論文演習 2 1	
		★ 心理学概論 II 2	★ 知覚・認知心理学 2			
		★ メンタルヘルス論 I 2	★ 臨床心理学概論 2			
		★ 社会学 2	★ 発達心理学 1 2			
		★ 生命科学 1 2	★ 社会・集団・家族心理学 2			
			★ 対人行動論 1 2			
		★ 自然人類学 1 2				
	選択必修 (8)	人間学基幹科目群(8)	論理学 2	ロジカルシンキング 2	東洋思想論 1 (2年次科目) 西洋思想論 1 2	死生学(3年次科目) 2
選 択 (40)	自由選択科目 (22)	医学知識（人体の構造と機能及び疾病） 2	心理学研究法 2	心理学統計法(2年次科目) 2	心理実習 2 1	
		教育・学校心理学 2	心理学実験 1 2	感情・人格心理学(2年次科目) 2	心身医学(3年次科目) 2	
		福祉心理学 2	心理学実験 2 2	学習・言語心理学(2年次科目) 2	産業カウンセリング論(2年次科目) 2	
		公認心理師の職業 2	発達心理学 2 2	心理的アセスメント 2		
		ソーシャルワーク論 2	産業・組織心理学 2	心理療法論（心理学的支援法） 2		
			精神医学(精神疾患とその治療) I 2	心理演習 1 1		
			精神医学(精神疾患とその治療) II 2	心理実習 1 1		
			司法・犯罪心理学 1 2	神経・生理心理学(2年次科目) 2		
			司法・犯罪心理学 2 2	社会調査法 2		
			関係行政論 2	社会調査実習 2		
			障害者・障害児心理学 2	心理統計法演習 2		
			メンタルヘルス論 II 2	精神分析学 2		
		臨床心理学特殊演習 2				
		英語文献研究 2				
		International Lectures(Human Sciences)1(2年次科目) 1				
		International Lectures(Human Sciences)2(2年次科目) 1				
備考	精神保健福祉士の取得を検討する場合は、ソーシャルワーク論も受講すること。	「心理学実験 1・2」は、2年次に合わせて履修することが望ましい。 「司法・犯罪心理学 1・2」については、いずれか一つの履修で公認心理師の受験資格を満たす。	公認心理師・臨床心理士や公務員をはじめとする心理学の専門職を志望する者は、「臨床心理学特殊演習」を履修することを推奨する。	モデルで示された講義に限らず、各自の関心のある講義を主体的に履修することを推奨する。		
履修モデル 計	40	42	38	11		
CAP（履修上限単位数）※1	40	42	42	36		
卒業所要単位数						
合計124単位以上						

※1 履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。  
 ※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じた科目を履修してください。  
 ※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位数表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

人間科学科 履修モデル 2023年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学習希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】	【進路イメージ】	【モデル概要】
臨床心理 科目群	法務教官、家裁調査官、各種相談員、児童自立支援専門員、児童心理司、認定心理士、スクールカウンセラー（大学院進学）、臨床心理士（大学院進学）、臨床発達心理士（大学院進学）、言語聴覚士（大学院・専攻科進学）、福祉・医療産業、事務職、販売職 など	臨床心理士を目標とした大学院進学や公務員などの専門職、心理学を活かした社会での活躍に向けて、臨床心理学や発達心理学などの必修科目に加え、心理療法論やカウンセリング演習などの実践的な科目から、心理学の基礎と応用を学びます。これらの科目は、認定心理士の取得に合わせた構成がなされています。より専門的な知識を得たい場合は、社会調査法や社会調査実習の履修も推奨します。

科目区分		1年	2年	3年	4年					
武蔵野 INITIAL (16)	必修 (16)	建学	★ 仏教（生き方を考える）基礎	2	★ 仏教（生き方を考える）発展	2				
		情報	★ データサイエンス基礎	1	「AI活用エキスパートコース」については、別紙参照					
			★ 人工知能基礎	1						
		外国語	★ 英語基礎A	2						
			★ 英語基礎C	2						
		教養日本語	★ 日本語リテラシー	1						
		CHP	★ SDGs基礎	1						
★ SDGs発展1	1									
★ SDGs発展2	1									
フィールド・スタディーズ	★ SDGs発展3	1								
		★ フィールド・スタディーズ	1							
学科科目 (86)	必修 (38)	★ 人間学入門	2	★ 人間論基礎	2	★ 人間論演習1	1	★ 卒業論文	2	
		★ 人間科学基礎	2	★ 基礎ゼミ1	1	★ 人間論演習2	1	★ 卒業論文演習1	1	
		★ 心理学概論Ⅰ	2	★ 基礎ゼミ2	2	★ 健康・医療心理学	2	★ 卒業論文演習2	1	
		★ 心理学概論Ⅱ	2	★ 知覚・認知心理学	1					
		★ メンタルヘルス論Ⅰ	2	★ 臨床心理学概論	2					
		★ 社会学	2	★ 発達心理学1	2					
		★ 生命科学1	2	★ 社会・集団・家族心理学	2					
	選択必修 (8)	人間学基幹科目群(8)	論理学	2	ロジカルシンキング	2	東洋思想論1(2年次科目)	2	死生学(3年次科目)	2
			医学知識(人体の構造と機能及び疾病)	2	心理学研究法	2	心理学統計法(2年次科目)	2	International Lectures(Human Sciences) 1(2年次科目)	1
			ソシールワーク論	2	心理学実験1	2	感情・人格心理学(2年次科目)	2	International Lectures(Human Sciences) 2(2年次科目)	1
選択 (40)		福祉心理学	2	心理学実験2	2	学習・言語心理学(2年次科目)	2			
		教育・学校心理学	2	司法・犯罪心理学1	2	神経・生理心理学(2年次科目)	2			
		公認心理師の職責	2	家族心理学	2	心身医学	2			
				脳と心2	2	司法・犯罪心理学2(2年次科目)	2			
				産業カウンセリング論	2	心理的アセスメント	2			
				発達心理学2	2	心理療法論(心理学的支援法)	2			
				産業・組織心理学	2	臨床心理学特殊演習	2			
				健康科学	2	精神分析学	2			
				コミュニティ心理学	2	英語文献研究	2			
				メンタルヘルス論Ⅱ	2	カウンセリング演習	1			
				心理統計法演習	2					
				精神医学(精神疾患とその治療)Ⅰ(2年次科目)	2					
				精神医学(精神疾患とその治療)Ⅱ(2年次科目)	2					
				インターンシップ	1					
自由選択科目 (22)										
備考			「心理学実験1・2」は、2年次に合わせて履修することが望ましい。	臨床心理士や公務員をはじめとする心理学の専門職を志望する者は、「臨床心理学特殊演習」を履修することを推奨する。				モデルで示された講義に限らず、各自の関心のある講義を主体的に履修することを推奨します。		
履修モデル 計		40	42	40	8					
CAP(履修上限単位数)※1		40	42	42	36					
卒業所要単位数			合計124単位以上							

※1 履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。  
 ※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください。  
 ※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位数表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

人間科学科 履修モデル 2023年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学習希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

【進路イメージ】

【モデル概要】

人間学基幹  
科目群

公務員、地域社会リーダー、図書館などの社会教育、マスコミ、企業の人事・管理・営業部門、事務職、販売職、ホテル産業、旅行産業、航空産業 など

東洋思想や西洋思想、倫理学を幅広く学ぶことで、自己認識力・他者理解力の獲得や、哲学的な問題提起や論証に関する知識や能力を習得することができます。哲学・倫理学の知識や仏教精神にもとづき人間尊重の倫理・道徳観を身につけることで、社会で活躍する人間力を身につけます。

★必修科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年					
武蔵野 INITIAL (16)	必修 (16)	建学	★ 仏教（生き方を考える）基礎	2	★ 仏教（生き方を考える）発展	2				
		情報	★ データサイエンス基礎	1	「AI活用エキスパートコース」については、別紙参照					
		★ 人工知能基礎	1							
		外国語	★ 英語基礎A	2						
		★ 英語基礎C	2							
		教養日本語	★ 日本語リテラシー	1						
		CHP	★ SDGs基礎	1						
★ SDGs発展1	1									
★ SDGs発展2	1									
★ SDGs発展3	1									
フィールド・スタディーズ	★ フィールド・スタディーズ	1								
学科科目 (86)	必修 (38)		★ 人間学入門	2	★ 人間論基礎	2	★ 人間論演習1	1	★ 卒業論文	2
			★ 人間科学基礎	2	★ 基礎ゼミ1	1	★ 人間論演習2	1	★ 卒業論文演習1	1
			★ 心理学概論I	2	★ 基礎ゼミ2	2	★ 健康・医療心理学	2	★ 卒業論文演習2	1
	★ 心理学概論II	2	★ 知覚・認知心理学	1						
	★ メンタルヘルス論I	2	★ 臨床心理学概論	2						
	★ 社会学	2	★ 発達心理学1	2						
	★ 生命科学1	2	★ 社会・集団・家族心理学	2						
			★ 対人行動論1	2						
			★ 自然人類学1	2						
	選択必修 (8)	人間学基幹科目群(8)	論理学	2	東洋思想論1 東洋思想論2 ロジカルシンキング	2 2 2	平和学(2年次科目) 宗教学概論 西洋思想論1 西洋思想論2	2 2 2 2	死生学(3年次科目)	2
	選択 (40)		人格心理学 社会心理学 脳と心1 教育・学校心理学	2 2 2 2	心理学研究法 心理学統計法 地域社会学 産業・組織心理学 社会福祉の原理と政策I 社会福祉の原理と政策II 発達心理学2 コミュニティ心理学 家族社会学	2 2 2 2 2 2 2 2 2	メンタルヘルス論II(2年次科目) 心理療法論(心理学的支援法) 英語文献研究 社会調査法 マスコミュニケーション論 脳と心2(2年次科目) 心身医学 地域福祉論I 地域福祉論II 社会保障I 社会保障II 司法・犯罪心理学1(2年次科目) 司法・犯罪心理学2(2年次科目)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	福祉心理学(1年次科目) 対人行動論2(2年次科目)	2 2
自由選択科目 (22)		情報技法基礎 メディアリテラシー	1 1	インターンシップ	1					
備考									モデルで示された講義に限らず、各自の関心のある講義を主体的に履修することを推奨します。	
履修モデル計		40	41	40	10					
CAP(履修上限単位数)※1		40	42	42	36					
卒業所要単位数					合計124単位以上					

※1 履修上限単位数は前年のGPAIによって拡大することがあります。

※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください。

※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

人間科学科 履修モデル 2023年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学習希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】	【進路イメージ】	【モデル概要】
産業・社会 科目群	公務員、企業の営業・企画・調査・開発部門、産業カウンセラー、企業の研究・開発（大学院進学）、生理人類士2級、ホテル産業、旅行産業、航空産業、事務職、販売職など	社会学、社会心理学、産業・組織心理学領域の履修を進めることで、社会や産業に関する知識を習得します。社会調査法や社会調査実習では、実践的な行動力や思考力を獲得します。そのうえで、人間社会で直面する問題について主体的に解決に取り組める能力を身につけ、企業や官公庁で活躍できる応用力を身につけます。

★必修科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年				
武蔵野 INITIAL (16)	必修 (16)	建学	★ 仏教（生き方を考える）基礎	2	★ 仏教（生き方を考える）発展	2			
		情報	★ データサイエンス基礎	1	「AI活用エキスパートコース」については、別紙参照				
			★ 人工知能基礎	1					
		外国語	★ 英語基礎A	2					
			★ 英語基礎C	2					
		教養日本語	★ 日本語リテラシー	1					
		CHP	★ SDGs基礎	1					
★ SDGs発展1	1								
★ SDGs発展2	1								
★ SDGs発展3	1								
フィールド・スタディーズ	★ フィールド・スタディーズ	1							
学科科目 (86)	必修 (38)	★ 人間学入門	2	★ 人間論基礎	2	★ 人間論演習1	1	★ 卒業論文	2
		★ 人間科学基礎	2	★ 基礎ゼミ1	1	★ 人間論演習2	1	★ 卒業論文演習1	1
		★ 心理学概論I	2	★ 基礎ゼミ2	2	★ 健康・医療心理学	2	★ 卒業論文演習2	1
		★ 心理学概論II	2	★ 知覚・認知心理学	1				
		★ メンタルヘルス論I	2	★ 臨床心理学概論	2				
		★ 社会学	2	★ 発達心理学1	2				
		★ 生命科学1	2	★ 社会・集団・家族心理学	2				
				★ 対人行動論1	2				
				★ 自然人類学1	2				
選択必修 (8)	人間学基幹科目群(8)	論理学	2	東洋思想論1	2	西洋思想論1	2		
				平和学	2	死生学	2		
選択 (40)		社会心理学	2	地域社会学	2	英語文献研究	2	権利擁護を支える法制度(3年次科目)	2
		人格心理学	2	家族社会学	2	社会調査法	2	International Lectures(Human	1
		脳と心1	2	集団心理学	2	社会調査実習	2	Sciences)1(2年次科目)	
		教育・学校心理学	2	社会福祉の原理と政策I	2	産業カウンセリング(2年次科目)	2	International Lectures(Human	1
				社会福祉の原理と政策II	2	コミュニティ心理学(2年次科目)	2	Sciences)2(2年次科目)	
				産業・組織心理学	2	関係行政論(2年次科目)	2		
				心理学研究法	2	感情・人格心理学(2年次科目)	2		
				司法・犯罪心理学1	2	学習・言語心理学(2年次科目)	2		
				対人行動論2	2	社会保障I	2		
						社会保障II	2		
自由選択科目 (22)	メディアリテラシー	1	インターンシップ	1					
備考								モデルで示された講義に限らず、各自の関心のある講義を主体的に履修することを推奨します。	
履修モデル計		39		41		42		8	
CAP(履修上限単位数)※1		40		42		42		36	
卒業所要単位数								合計124単位数以上	

※1 履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください。

※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位数表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れがないように気をつけてください。

## 人間科学科 履修モデル 2023年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学習希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

【進路イメージ】

【モデル概要】

生命・健康科学  
科目群

研究・開発（大学院進学）、言語聴覚士（大学院進学）、企業の企画・調査・開発部門、バイオ・食品・健康関連産業、医薬情報担当者、事務職、販売職など

人間の心と体について、広く生命科学の観点からの理解を目指します。生命科学の知識を得るだけでなく、科学リテラシーや論理的思考力をはじめとした、社会で主体的に活躍するために必要な実践力を身につけます。大学院で研究をおこない、学びをさらに深めることも可能です。

★必修科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年					
武蔵野 INITIAL (16)	必修 (16)	建学	★ 仏教（生き方を考える）基礎	2	★ 仏教（生き方を考える）発展	2				
		情報	★ データサイエンス基礎 ★ 人工知能基礎	1 1	「AI活用エキスパートコース」については、別紙参照					
		外国語	★ 英語基礎A ★ 英語基礎C	2 2						
		教養日本語	★ 日本語リテラシー	1						
		CHP	★ SDGs基礎	1						
			★ SDGs発展1 ★ SDGs発展2 ★ SDGs発展3	1 1 1						
			フィールド・スタディーズ	★ フィールド・スタディーズ	1					
学科科目 (86)	必修 (38)	★ 人間学入門	2	★ 人間論基礎	2	★ 人間論演習1	1	★ 卒業論文	2	
		★ 人間科学基礎	2	★ 基礎ゼミ1	1	★ 人間論演習2	1	★ 卒業論文演習1	1	
		★ 心理学概論I	2	★ 基礎ゼミ2	2	★ 健康・医療心理学	2	★ 卒業論文演習2	1	
★ 心理学概論II		2	★ 知覚・認知心理学	1						
★ メンタルヘルス論I		2	★ 臨床心理学概論	2						
★ 社会学		2	★ 発達心理学1	2						
★ 生命科学1		2	★ 社会・集団・家族心理学	2						
			★ 対人行動論1	2						
			★ 自然人類学1	2						
	選択必修 (8)	人間学基幹科目群(8)	論理学	2	東洋思想論1 ロジカルシンキング	2 2	死生学 東洋思想論2(2年次科目)	2 2	西洋思想論1(3年次科目)	2
	選択 (40)	医学知識(人体の構造と機能及び疾病)	2	心理学実験1	2	学習・言語心理学(2年次科目)	2	International Lectures(Human Sciences)1(2年次科目)	1	
脳と心1		2	心理学実験2	2	感情・人格心理学(2年次科目)	2	International Lectures(Human Sciences)2(2年次科目)	1		
社会心理学		2	発達心理学2	2	産業・組織心理学(2年次科目)	2	福祉心理学(1年次科目)	2		
人格心理学		2	集団心理学	2	マスコミュニケーション論	2				
			生命科学2	2	心身医学	2				
			自然人類学2	2	生命科学実験演習1	1				
			脳と心2	2	生命科学実験演習2	1				
			障害者・障害児心理学	2	生理実験演習1	1				
			司法・犯罪心理学1	2	生理実験演習2	1				
			心理学研究法	2	心理統計法演習	2				
					精神医学(精神疾患とその治療)I(2年次科目)	2				
					精神医学(精神疾患とその治療)II(2年次科目)	2				
					神経・生理心理学(2年次科目)	2				
				社会調査法	2					
				社会調査実習	2					
				心理学統計法(2年次科目)	2					
				対人行動論2(2年次科目)	2					
				司法・犯罪心理学2(2年次科目)	2					
自由選択科目 (22)		情報技法基礎 メディアリテラシー	1 1	インターンシップ	1					
備考				「心理学実験1・2」は、2年次に合わせて履修することが望ましい。					モデルで示された講義に限らず、各自の関心のある講義を主体的に履修することを推奨します。	
履修モデル計		40		41		42		10		
CAP(履修上限単位数)※1		40		42		42		36		
卒業所要単位数									合計124単位以上	

※1 履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください。

※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。



人間科学科 履修モデル 2023年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学習希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

<b>【モデル名】</b>	<b>【進路イメージ】</b>
精神保健福祉	精神保健福祉士（国家資格）の取得を目指す。 精神科医療機関・障害福祉サービス事業・精神保健福祉行政における相談援助、 スクールソーシャルワーカー、社会復帰調査官（保護観察所）、企業等における精神保健福祉相談

<b>【モデル概要】</b>
精神保健福祉士の資格取得の要件である指定科目を中心とした履修モデルです。2、3年生の講義・演習での学習を踏まえ、4年生では精神科医療機関及び障害福祉サービス事業等の現場で実習（210時間）を行います。さらに国家試験受験対策講座を受講し、精神保健福祉士の取得を目指します。

★必修科目 数字は単位数

色付きの科目は精神保健福祉士国家試験の受験資格に必須の科目

科目区分		1年		2年		3年		4年		
武蔵野 INITIAL (16)	必修 (16)	建学	★ 仏教（生き方を考える）基礎	2		★ 仏教（生き方を考える）発展	2			
		情報	★ データサイエンス基礎 ★ 人工知能基礎	1 1	「AI活用エキスパートコース」については、別紙参照					
		外国語	★ 英語基礎A ★ 英語基礎C	2 2						
		教養日本語	★ 日本語リテラシー	1						
		CHP	★ SDGs基礎 ★ SDGs発展1 ★ SDGs発展2 ★ SDGs発展3	1 1 1 1						
			フィールド・スタディーズ	★ フィールド・スタディーズ	1					
学科科目 (86)	必修 (38)	★ 人間学入門 ★ 人間科学基礎 ★ 心理学概論Ⅰ ★ 心理学概論Ⅱ ★ メンタルヘルス論Ⅰ ★ 社会学 ★ 生命科学1	2 2 2 2 2 2 2	★ 基礎ゼミ1 ★ 基礎ゼミ2 ★ 臨床心理学概論 ★ 発達心理学1 ★ 社会・集団・家族心理学 ★ 自然人類学1 ★ 人間論基礎 ★ 知覚・認知心理学 ★ 対人行動論1	1 1 2 2 2 2 2 2 2	★ 健康・医療心理学 ★ 人間論演習1 ★ 人間論演習2	2 1 1	★ 卒業論文 ★ 卒業論文演習1 ★ 卒業論文演習2	2 1 1	
		選択必修 (8)	人間学基幹科目群(8)	論理学	2	ロジカルシンキング 東洋思想論1	2 2	西洋思想論1 死生学	2 2	
		選択 (40)		ソーシャルワーク論 医学知識（人体の構造と機能及び疾病） 福祉心理学 教育・学校心理学 公認心理師の職責	2 2 2 2 2	メンタルヘルス論Ⅱ 社会福祉の原理と政策Ⅰ 社会福祉の原理と政策Ⅱ 精神医学（精神疾患とその治療）Ⅰ 精神医学（精神疾患とその治療）Ⅱ ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ 精神保健福祉の原理Ⅰ 精神保健福祉の原理Ⅱ 精神保健福祉制度論 ソーシャルワーク演習 家族心理学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 2	社会調査法 社会保障Ⅰ 社会保障Ⅱ 地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ 権利擁護を支える法制度 精神障害リハビリテーション論 ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ 刑事司法と福祉 障害者福祉論 ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 司法・犯罪心理学1（2年次科目） 司法・犯罪心理学2（2年次科目） 産業・組織心理学（2年次科目）	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習 産業カウンセリング論（2年次科目） 社会調査実習（3年次科目）
自由選択科目 (22)										
備考		公認心理師の進路も検討している場合は、精神保健福祉士の指定科目のほか選択科目で「福祉心理学」、「教育・学校心理学」、「公認心理師の職責」を履修すること。		必修科目の「基礎ゼミ2」は「ソーシャルワーク演習」にて、みなし履修（修得）とする。		必修科目の「人間論演習1」、「人間論演習2」は「ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ」と「ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ」にて、みなし履修（修得）とする。		必修科目の「卒業論文」、「卒業論文演習1」、「卒業論文演習2」は「ソーシャルワーク実習」にて、みなし履修（修得）とする。 モデルで示された講義に限らず、各自の関心のある講義を主体的に履修することを推奨する。		
履修モデル計		40		42		39		11		
CAP（履修上限単位数）※1		40		42		42		36		
卒業所要単位数						合計124単位以上				

※1 履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください。

※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。



1. 留学の単位認定科目

留学区分	科目名	単位	科目区分	備考
協定留学	協定留学 1	1	学科科目 (選択)	留学先での修得科目の内容が、本学の開講科目の内容に相当する場合は読み替えて単位認定し、それ以外の科目を左記科目として認定します。  留学先での修得科目を本学で単位認定する際の換算方法は、以下のとおりです。 語学科目 18時間 = 1単位 学部科目 11.25時間 = 1単位
	協定留学 2	2		
	協定留学 3	4		
	協定留学 4	6		
	協定留学 5	8		
	協定留学 6	10		
	協定留学 7	10		
認定 (SAP) 留学	認定留学 1	1	学科科目 (選択)	ただし、留学先での修得科目の内容によっては単位が認定されない場合があります。  留学先での単位認定の上限単位数は、以下のとおりです。 通年：40単位 半期：20単位 1学期：10単位
	認定留学 2	2		
	認定留学 3	4		
	認定留学 4	6		
	認定留学 5	8		
	認定留学 6	10		
	認定留学 7	10		
短期語学研修	海外語学研修 1	2	自由選択科目 ※	参加するプログラムに応じて、左記科目として認定します。  研修先での受講を本学で単位認定する際は、18時間を1単位として換算します。
	海外語学研修 2	3		
	海外語学研修 3	4		
	海外語学研修 4	4		
	オンライン語学研修 1	1		
	オンライン語学研修 2	1		
	オンライン語学研修 3	2		
	オンライン語学研修 4	2		
	オンライン語学研修 5	3		
	オンライン語学研修 6	3		
	オンライン語学研修 7	4		
オンライン語学研修 8	5			

2. 資格試験の合格による単位認定科目（単位認定対象講座の受講が必要）

区分	科目名	単位	科目区分	備考
資格認定	資格認定 I	2	自由選択科目 ※	対象講座の受講が必要です (今年度は単位認定の対象となる講座は開講されません)。
	資格認定 II	2		
	資格認定 III	2		
	資格認定 IV	1		
	資格認定 V	1		
	資格認定 VI	1		
	資格認定 VII	1		

3. 本学で認めたボランティア活動による単位認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
ボランティア活動	ボランティア活動 1	1	自由選択科目 ※	ボランティア活動時間を本学で認定する際は、45時間を1単位として換算します。
	ボランティア活動 2	1		
	ボランティア活動 3	2		
	ボランティア活動 4	2		
	ボランティア活動 5	4		

4. 本学で認めたキャリアデザインに関する単位認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
キャリアデザイン	キャリアデザイン A	1	自由選択科目 ※	2021年度以降入学生は認定可能です。
	キャリアデザイン B	1		
	キャリアデザイン C	2		
	キャリアデザイン D	2		
	キャリアデザイン E	2		

5. その他本学が認めた単位認定科目

※ 自由選択科目の区分がある学科・課程年度が対象です（自由選択科目の区分を設けていない学科・課程年度においては、卒業要件外科目となります）。

**【付録：卒業所要単位表・開講表の見方】**

学科・課程年度によって武蔵野INITIAL、学科科目の必修・選択必修・選択の区分、構成が異なります。自身の学科・課程年度の卒業所要単位表・開講表を確認してください。

**●卒業所要単位表**

〇〇学部 △△学科 -20XX年度入学生-

卒業所要単位数

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野INITIAL	必修	単位区分に応じた科目名又は科目群	
学科科目	必修		
	選択必修		
	選択		
自由選択科目※		以下の科目から〇〇単位以上を修得すること ①武蔵野INITIAL（所要△△単位を超えて修得した単位） ②学科科目（所要××単位を超えて修得した単位） ・ ・ ・	

武蔵野INITIALのうち、必修として必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

学科科目のうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は学科選択に含まれます。

学科選択科目に必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

※自由選択科目の区分の有無と対象となる科目の構成は学科・課程年度によって異なります。

**●開講表**

自身の学部・学科、コース、課程年度（入学年度）であるか確認してください。

<公開年度>

年度によって科目の休講・廃止等があるため、最新の開講表を確認してください。

〇〇学部 XX学科 △△△△△△△△コース -20XX年度入学生-

開講表 [学科科目]

20XX年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
<b>【基礎科目群】</b>						
ABCD 101	××基礎 1	1年		2	◆全員履修	
ABCD 102	ゼミナール	1年	1		◆全員履修	
ABCD 103	XX学入門	1年		2		
ABCD 104	□□論 1	1年		1		
ABCD 201	□□論 2	2年		1		休講
ABCD 106	◎◎学	1年		1	◇××基礎 1を履修していること	
AABB 106	◇◇法	1年		2		
AABB 101	○△□論	1年		2		4科目の中から2科目 選択必修
AABB 102	□□論 1	1年		2		
GHIJ 104	△△学理論	1年		2		
<b>【基幹科目群】</b>						
PJK 101	○○学理論	1年		2		
PJK 102	△○学理論	1年		2		
CDR 101	◇◇学理論	1年		2		
CDR 206	□□論 2	2年		2	◆□□論 1を履修していること	

科目の分類を表します。

<開講年次>

履修が可能となる学年。  
(上位学年の科目は履修できません。)

<科目番号 (ナンバリング)>

カリキュラムの体系的・段階的な構成を示すため、科目にはレベル、学問分野に基づいた科目番号が付けられています。ナンバリングを参考にすることで、学修の段階・レベルを意識して履修計画を立てることができます。レベルの詳細は、学修の手引きの「単位と科目」ページにある「ナンバリング (科目番号)」を確認してください。

<単位数>

必修科目の場合「必修」欄に、選択必修科目・選択科目の場合は「選択」欄に単位数が入っています。

<履修条件>

科目によっては、学習効果を高めるために、学修の段階に応じた履修条件が設定されています。設定されている場合は、開講表の履修条件欄、又はシラバスに記載されています。

<備考>

選択必修や休講科目の情報など、科目の補足情報が記載されています。